

2026年4月2日

報道機関各位

学校法人 塚本学院

大阪芸術大学

**1日40万人が行き交う地下街をキャンパスに。**

**大阪芸術大学×ホワイトイウめだ、学生制作のPR映像を放映中**

■会期・場所：2026年2月9日（月）～4月5日（日） ホワイトイウめだ

大阪芸術大学（所在地：大阪府南河内郡、学長：塚本 邦彦、以下本学）は、大阪地下街株式会社と協働し、1日約40万人が通行する「ホワイトイウめだ」の200面デジタルサイネージを活用したPR映像制作プロジェクトを実施しました。本プロジェクトは、映像学科の学生たちが「リアルなクライアントワーク」を体験する実践的な取り組みであり、制作された16チームの映像作品は、ホワイトイウめだにて2026年4月5日（日）まで放映しています。



### ■1日40万人が行き交う巨大地下街での「社会実装」

本プロジェクトは、映像学科2年生前期の授業課題として実施されました。単なる映像制作の技術習得にとどまらず、「誰のために作るのか」という客観的視点の獲得を狙いとしています。学生たちは、1日約40万人が通行する「ホワイトイウめだ」を舞台に、リサーチ&ヒアリングから始まり、アイデア会議、企画提案プレゼンテーション、実制作&ブラッシュアップ、クライアントチェック、そして完成納品に至るまで、プロの実務と同等のフローを経験しました。

さらに、実際の視線上にどのように映るかを検証する「現地シミュレーション」も実施。「作りたいもの」ではなく「見る人やクライアント」を想像して練る難しさや、要望とインパクトの両立に向き合うプレッシャーを乗り越えた経験が、将来への強力なモチベーションに繋がっています。

## ■ 通行人の目を引く、多様でユーモアあふれる 16 チームのクリエイティブ

音声なしの放映環境であるという制約の中、「いかに通行人の目を引くか」を軸に試行錯誤を重ね、大阪芸術大学の学生ならではのユーモアと楽しさを活かした多様な作品が完成。短い制作期間の中でもクライアントの要望に応え、最終プレゼンでは堂々と発表を行い、納品まで完了しました。

- ・「チカ」だから安心、をコンセプトにした特撮ヒーロー『ウメダーマン』



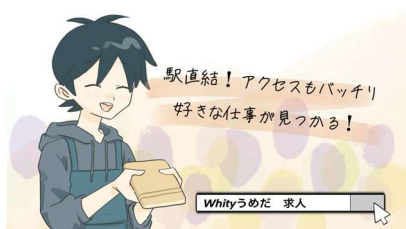
- ・粘土や羊毛フェルトを組み合わせた温かみのあるアニメーション

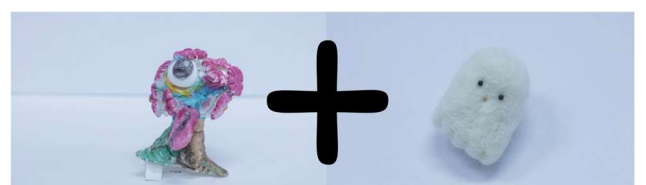


- ・コミカルなイラストや、ユニークなモーショングラフィックスによるスタッフ募集映像



- ・多彩なクリエイティブ作品





### ■プロジェクト概要

- 名称 : 「ホワイトティウめだ」PR 映像制作プロジェクト
- 放映期間 : 2026年2月9日(月)～4月5日(日)
- 放映場所 : ホワイトティウめだ「200シーリングビジョン」
- 参加学生 : 大阪芸術大学 映像学科
- 協力 : 大阪地下街株式会社

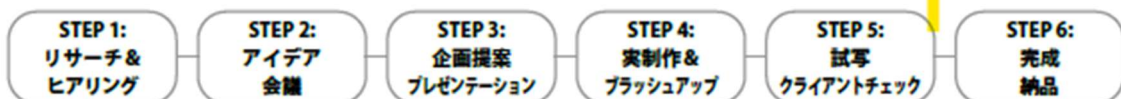
産学連携デジタルサイネージ・プロジェクト

**Whity**<sup>うめだ</sup> × 大阪芸術大学

Whityうめだ(大阪地下街株式会社)様からの4つのテーマ案(15秒から30秒間の映像)

1. 地下空間に春を演出する
2. ホワイティうめだロゴをベースにしたモーショングラフィックス
3. ホワイティうめだ店舗スタッフ募集告知
4. 自由企画 (ホワイティうめだのPR)

制作プロセス：リサーチから納品まで



企画提案：クライアントへのプレゼンテーション



完成映像：様々なアプローチにトライ



現地シミュレーション：視線にどのように映るか検証



上映期間

**2026年2月9日～4月5日まで**

上映時間は5:00～24:00の19時間、6分に1回(1日で190回上映)  
ホワイティうめだのシーリングビジョン(天井部) 200画面で上映中

